

2019年7月31日
株式会社日本政策金融公庫

令和元年度「アグリフードEXPO輝く経営大賞」を決定
～地域農業を担う優良経営体を表彰～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、このたび、令和元年度「アグリフードEXPO輝く経営大賞」の受賞者を、以下のとおり決定しました（受賞者の詳細は別紙参照）。

○「大賞」受賞者（五十音順）

社名	所在地	業種・規模
有限会社 舟形マッシュルーム (代表取締役 長澤光芳)	山形県 舟形町	マッシュルーム（ハウス面積 8,400㎡） 加工品（マッシュルームカレー他）
株式会社 堀内果実園 (代表取締役 堀内俊孝)	奈良県 五條市	果樹（柿、梅、かりん、ブルーベ リー、すもも）10ha 加工品（ドライフルーツ等）

「アグリフードEXPO輝く経営大賞」は、地域の農業・食品産業の担い手として相応しく、「アグリフードEXPO※」への出展をきっかけに、優れた経営を実現している経営体を表彰するものです。多くの経営体の目標となる姿を示すことで、地域の農業及び食品産業を育成することを目的としています。

※ 国産農産物をテーマとした全国規模の展示商談会で、毎年8月に東京、2月に大阪で開催しています。（<https://www.agri-foodexpo.com/>）

同賞は日本公庫農林水産事業が平成17年度に創設し、今年度で15回目を迎えます。

全国の日本公庫の支店から候補者が推薦され、社外の有識者で構成する「アグリフードEXPO輝く経営大賞選定委員会」（会長：大泉一貫 宮城大学名誉教授）による審議を経て、受賞者を決定しています。

なお、「アグリフードEXPO東京2019」の開催初日である8月21日（水）に、同会場内で本賞の表彰式を行います。当日はメディアの皆さまからの取材を受け付けていますので、取材をご希望の方は事前にお問い合わせ先にご連絡ください。

【第14回「アグリフードEXPO東京2019」の開催概要】

日時：8月21日（水）10：00～17：00
8月22日（木）10：00～16：00

会場：東京ビッグサイト 南4ホール（東京都江東区有明）

主催：日本政策金融公庫

※詳細は公式ホームページ（<https://www.agri-foodexpo.com/>）をご覧ください。

○令和元年度「アグリフードEXPO輝く経営大賞」の表彰式について

日時：8月21日（水） 14：00～（予定）

場所：東京ビッグサイト 南4ホール（アグリフードEXPO会場内）

○「アグリフードEXPO輝く経営大賞」選定委員（敬称略、五十音順）

宮城大学 名誉教授	大泉 一貫（会長）
農業ジャーナリスト	青山 浩子
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 総括調整役	梅本 雅
学習院女子大学国際文化交流学部 教授	荘林 幹太郎
有限会社フジタファーム 代表取締役	藤田 毅
株式会社結アソシエイト 代表取締役	松田 恭子
アグリビジネス・ソリューションズ株式会社 代表取締役、税理士	森 剛一

令和元年度「アグリフードEXPO輝く経営大賞」「大賞」受賞者概要（五十音順）

受賞者	有限会社舟形マッシュルーム（代表取締役 長澤光芳）	
所在地	山形県舟形町	
経営概要	<ul style="list-style-type: none"> 年間約 1,450 t のマッシュルームを生産し、その国内シェアは約 20%。販路は全て直接販売としており、全国の量販店や外食チェーン等に販売している。 マッシュルーム加工品の製造を手掛けるほか、自社農場内に『マッシュルームスタンド舟形』（直売所、レストラン）を開設するなど、6次産業化にも積極的に取り組んでいる。 	 
受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> 当社は東京と大阪のアグリフードEXPOに計 22 回出展。主要販売先を含め、現在の販売先の過半数がアグリフードEXPOを通じて開拓した取引先となっている。 加工商品の製造や直営レストランの開設などの6次産業化への取組みを通じて地域活性化に貢献している。 当社は国内でも数少ない自社培地によるマッシュルーム生産者であることに加え、JGAP、JAS認証を取得するほか、自社加工場で「山形県HACCP認証」を取得。さらに、国内マッシュルーム生産者として唯一「国産きのこ有機認証 リーフアース」を取得するなど、顧客の安心・安全ニーズに対して真摯に対応している。 	

受賞者	株式会社 堀内果実園（代表取締役 堀内俊孝）	
所在地	奈良県五條市	
経営概要	<ul style="list-style-type: none"> 当社は奈良県五條市で 100 年以上、6 代続く果樹農家。柿を中心に、梅、かりん、ブルーベリー、すももを無化学肥料により栽培し、全国の百貨店や生協に販売している。 また、ドライフルーツ、ジャムなどの加工品製造や直営店の運営などの6次産業化を積極的に推進するほか、台湾や香港向けの輸出にも取り組んでいる。 	
受賞理由	<ul style="list-style-type: none"> 当社は東京と大阪のアグリフードEXPOに計 14 回出展し、現在の主要販路先である百貨店などとの取引開始に結びつけた。 出展時のバイヤーの声や他の出展者の取組みを参考に商品の改良、開発を行い、商品のブランド力を向上させることで経営を発展させた。 平成 29 年には「くだものをたのしむお店」をコンセプトに、サンドイッチなどの飲食スペースと当社加工品の物販スペースを併設した店舗を開店。店舗での販売を通して、当社のある奈良県吉野地域や果物の魅力をPRしていく方針であり、地域農業を牽引していく経営体として期待される。 	  <small>（当社HPより転載）</small>